



令和4年6月会議報告

鎌ヶ谷市議会定例会 令和4年6月会議が、6月16日（木）から7月1日（金）までの16日間の会期で開催され、議案6件などが可決・成立しました。主な議案の概要は以下の通りです。

令和4年度鎌ヶ谷市一般会計補正予算（第1号）

国が4月26日に決定した「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」」に掲げられた住民税非課税世帯（住民税均等割が非課税）または家計急変世帯で令和3年度に支給を受けていない世帯に給付金（1世帯10万円）を支給するほか、低所得の子育て世帯に給付金（児童1人あたり5万円）を支給するための予算を計上するものです。

※令和4年6月会議の本会議初日に審議を行いました。7月上旬頃、対象者に支給要件確認書が送付されています。

令和4年度鎌ヶ谷市一般会計補正予算（第2号）

新型コロナウイルスワクチンの4回目接種に要する経費をはじめ、令和4年度末までに国が全自治体に対応を求めている「子育て・介護関係の26手続きのオンライン化」及び「マンナンバーカード所有者の転出・転入手続きのワンストップ化」に必要となる経費、総合福祉保健センターのエレベーター改修に必要となる設計委託料、農業者に対する農薬や肥料の使用削減に資する技術を導入するための補助金、令和4年10月からの北総鉄道運賃値下げを契機に北総線沿線地域活性化協議会が実施する「沿線活性化トレイン」に参加し、ラッピング広告や車内広告などの予算を計上するものです。

鎌ヶ谷市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

長期優良住宅の普及の促進に関する法律等の一部を改正する法律の施行等により、建築時でなくても事後に認定を受けられる仕組みが創設されたことを受けて、新たに長期優良住宅維持保全計画の認定の申請に対する認定手数料を定めるものです。

令和4年度鎌ヶ谷市一般会計補正予算（第3号）

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び、千葉県地域少子化対策重点推進交付金を活用し、新生児保護者への支援を目的とした、あふれるえがお出産給付金（新生児1人5万円）の支給に要する経費、地域経済の活性化を目的とした、かまたん商品券事業（プレミアム率25%）、公共交通事業者等の感染症対策や燃料高騰分の一部を支援することを目的とした特別支援金の支給に必要な経費、市営住宅のインターホンに非接触型設備に改修するために必要な経費、結婚新生活支援事業補助金（1世帯30万円）などの予算を計上するものです。

令和4年度鎌ヶ谷市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）及び令和4年度鎌ヶ谷市介護保険特別会計補正予算（第1号）

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に対し、令和4年度においても引き続き各保険料の徴収猶予又は減免を実施することに伴い、歳入予算の款項の予算額を変更し、特別調整交付金及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用するものです。

新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金について

新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止とともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活への支援を地方自治体が、地域の実情に応じて、きめ細やかに実施できるよう、国において令和2年度に創設されました。

鎌ヶ谷市では、同臨時交付金を活用し、これまでに保育所・小中学校・放課後児童クラブ、介護サービス施設、障がい者施設等におけるPCR検査の実施をはじめ、トイレの自動水栓や市役所窓口へのセルフレジの導入など公共施設の非接触設備や換気設備の充実、小中学校におけるICT環境の整備（児童一人一台端末の整備や大型提示装置の設置など）、子どもの医療費助成の拡充（高3まで）などの子育て支援の充実、在宅の障がい者や高齢者に対する支援（施設への短期入所やヘルパーの派遣など）、避難所における感染防止対策（間仕切りやテント、マスク、消毒液などの物資の購入）、経営支援給付金等の中小企業支援策などを実施してまいりました。

鎌ヶ谷市議会公明党は、令和2年6月8日に「新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」を清水市長（当時）に提出するなど、鎌ヶ谷市における対策を推進してきました。また令和4年4月に「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」の地方創生臨時交付金を国が創設したことを受けて、令和4年5月25日に「地方創生臨時交付金の活用に関する要望書」を芝田市長に提出。生活困窮者や低所得者に対する給付金の支給や子育て世帯に対する給付金の支給、学校給食費等の負担軽減、地域経済の活性化と生活者支援を目的としたプレミアム商品券の発行、バス・タクシーなど地域公共交通の経営支援、中小企業や農業など事業者に対する経営支援を要望しました。

鎌ヶ谷市は、原油価格・物価高騰対応分の同臨時交付金の実施計画を令和4年7月8日、千葉県に提出しており、実施計画が認定された後、9月中の交付決定の予定となっていることから、鎌ヶ谷市議会定例会 令和4年9月会議に一般会計補正予算案を提出することとしています。



芝田市長に「地方創生臨時交付金の活用に関する要望書」を提出する
鎌ヶ谷市議会公明党(令和4年5月25日 鎌ヶ谷市役所にて)

令和4年
6月会議

鎌ヶ谷市議会公明党の市政に関する一般質問から

伊福 幸一 議員

本市のスポーツ振興について

熱中症対策として、小中学校の体育館へのエアコン設置をはじめ、築約40年を越える「福太郎アリーナ」については、現在の洋式トイレ率が53%である状況を鑑み、残りの和式トイレの洋式化や施設のバリアフリー化、エアコンの設置などを要望するほか、「多目的グラウンド」や「中沢みんなのスポーツ広場」については、現在よりも自由に利用出来るよう、利用方法の見直しや市民の方から要望のあった、時計やサッカーゴール、防球ネットの設置について、また子ども達が体を動かす事の出来る場を増やすために、新たな多目的グラウンドの設置を要望しました。

シェアサイクル事業について

他の人と自転車を共有し、好きなタイミングや時間に利用できる仕組みのシェアサイクル事業は、市内の回遊性向上、環境への負荷の低減、健康増進、交通の渋滞緩和などの効果が期待されるため、本市への導入を要望しました。



富田 信恵 議員

女性の活躍推進と男女共同参画の取組みについて

少子高齢化、労働力人口の減少が進む中、これまでの男性主体の社会から、女性の社会参加を推進し、共に支える「男女共同参画社会」の構築は、近年、重要な課題であります。

今年6月に国が公表した、女性活躍・男女共同参画の重点方針『女性版骨太の方針2022』に、コロナの影響が今なお続く女性の非正規雇用労働者や貧困率の高い、女性のひとり親世帯への支援策として、雇用が増加している情報通信業に今後3年間、集中的に就労支援（女性デジタル人材育成プラン）を行うなどに「地域女性活躍推進交付金」の活用が示されていることから、本市における取組みについて質問し、地域の実情に応じて関係団体、企業等と連携した上で、積極的に活用できるよう検討していきたいとの答弁がありました。また鎌ヶ谷市では、今年度「男性向け育児冊子」の発行が予定されていることから、新しい家族を迎える夫婦が、男女共に家事育児を担う責任が持てる内容となるよう要望しました。



小易 和彦 議員

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について

コロナ禍における物価高騰への懸念が、日を追うごとに高まりつつあります。鎌ヶ谷市としても、同臨時交付金が適切かつ有効に活用されるように、また一日も早く市民生活を守る事業に活用されるように要望しました。市からは「実施計画の検討にあたり、ひとりひとりの心に寄り添った計画となるように進めていく」との答弁がありました。

带状疱疹ワクチン接種費用の助成について

全国で9自治体が費用助成を行っておりますが（6月会議時点）、コロナ禍を考慮して、本市においても、ワクチン接種費用の助成を市独自で取り組むべきと考えます。市の見解を伺ったところ「市民の方からの要望がある事や報道等においても带状疱疹を発症する方が増えていること、発症した場合には日常生活に支障をきたす恐れもあることなどに鑑み、市民の皆様の健康の維持・増進のため、検討が必要と考えている」との答弁がありました。



鈴木 哲也 議員

コミュニティバス「ききょう号」について

東中沢地区の一部が交通空白地帯となっていることから、東中沢自治会館付近から通称こひなた交差点を南下し、自然聖園まで続く生活道路にコミュニティバスの運行を要望しました。市からは「新たな運行ルートにあたっては今後予定しているコミュニティバス検討委員会でご意見を伺いながら、検討してまいりたい」との答弁がありました。

男性個室トイレへのサニタリーボックスの設置について

前立腺の肥大及び前立腺がんや膀胱がんを患う方々が安心して治療に専念できる環境を整えるため、男性個室トイレにサニタリーボックスを設置すべきであると提案しました。市からは「対応が必要との考えから、設置する理由を貼り紙などでお知らせした上で、利用者の多い市庁舎の1階や総合福祉保健センターの1階と2階の男性用トイレの個室にサニタリーボックスを設置し、可能な限り各施設において利用しやすい環境を整備していきます」との答弁がありました。



矢崎 悟 議員

道路・河川の維持管理について

鎌ヶ谷市の市道の延長は、令和3年度末時点で約24.5Km。この20年間で約3.2km増えていますが、維持管理に関する事業費は、横ばいの状況です。市内の道路では、至るところで経年劣化が進んでいるため、舗装の打ち替え等の予算の拡充と近年、全国各地で大雨被害が発生している状況を踏まえ、新京成線のアンダーパスの冠水時の車両侵入防止対策や河川の清掃・浚渫対策のほか、道幅が狭い生活道路の安全対策などについて、更なる取り組みを要望しました。

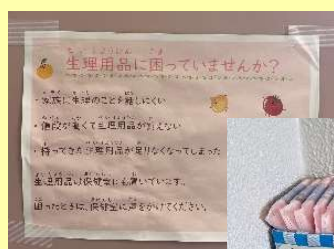
通学路の安全対策について

鎌ヶ谷市では、昨年の八街市の児童死傷事故を受け、96の危険箇所における対策を進めており、令和4年3月末までに75箇所の対策を終えました。残りの箇所の早期整備と、子ども見守りカメラについては、平成29年度に17台設置されて以降、設置場所以外での不審者情報も確認されていることから、更なる設置拡充を要望しました。



小中学校のトイレに生理用品が設置されました！

令和4年5月30日から、鎌ヶ谷市の小中学校のトイレに生理用品が設置されました。



鎌ヶ谷市では、昨年の6月から10月7日にかけて、コロナ禍の影響など、様々な理由から生理用品を購入できない方を支援するため、防災備蓄品を活用した生理用品の無償提供を実施しました。

小中学校における生理用品の設置につきましても同様に防災備蓄品を活用（ローリングストック）して、実施しています。鎌ヶ谷市議会公明党は、令和3年3月25日に「コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望書」を清水市長（当時）に提出し、必要とする児童生徒への生理用品の無償提供を要望するほか、令和3年6月会議の一般質問で取り上げるなど、取り組みを推進してまいりました。

